

昭和47年 WHEEL HOUSE, CONTROL ROOM

1) W47-01 えるべ丸 全景

1. 「えるべ丸」 1)～3)は「船の科学」
1972-4 (Vol.25, No.4)より採取。

・超高速大型コンテナ船 えるべ丸

DWT 35,229 kt

主機関 ディーゼル×3基

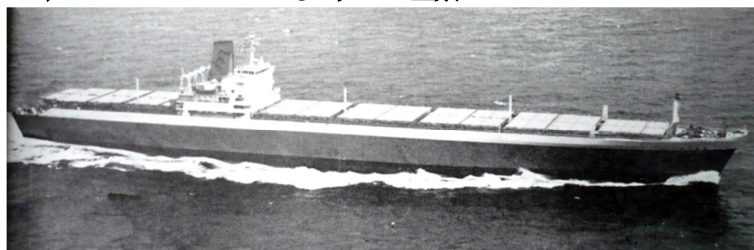
中央機 常用 28,800BPS 113rpm

両舷機 常用 21,600BPS 113rpm×2

コンテナ積載数 1842個 (160) 内は冷凍コンテナ数

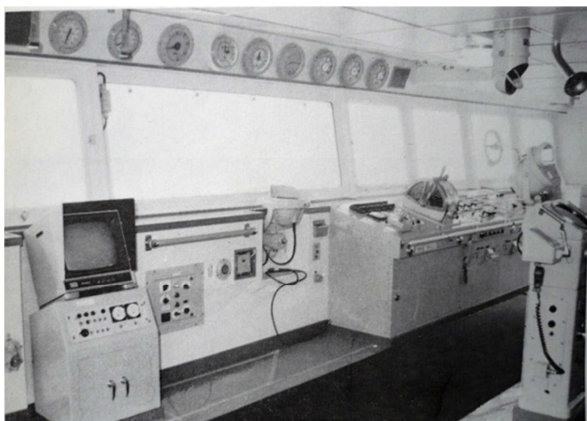
・船主 : 大阪商船三井船舶(株)

・建造 : 三井造船(株) 玉野造船所 昭和47年3月24日 竣工

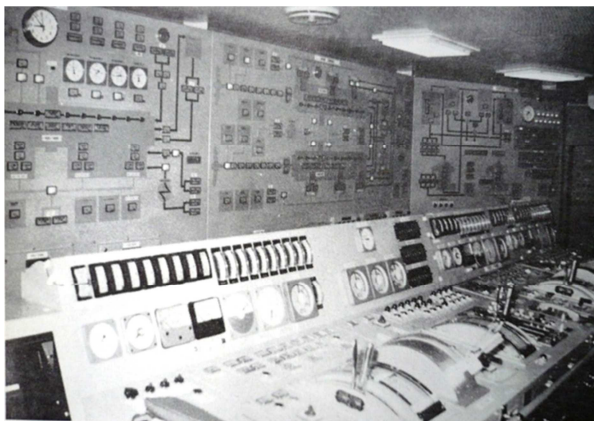


・1)は本船の全景、2)は操舵室で、コンソール、監視用TVのモニターが見える。窓の上のメータの数が多い。主機の回転計が3台あるためか。3)は機関制御室、主機の操縦ハンドルが3台見える。

2) W47-02 えるべ丸 操舵室



3) W47-03 えるべ丸 機関制御室



2. 「まりも」 4)～7)は「船の科学」1972-7 (Vol.25, No.7)より採取。

・長距離カーフェリー まりも

総トン数 9,235.39 T 航路は 東京-釧路

自動車搭載数 乗用車 100台、トラック 95台

・船主 : 近海郵船(株)

・建造 : 日立造船(株)、瀬戸田造船(株)

昭和47年3月30日 竣工

4) W47-04 まりも 全景



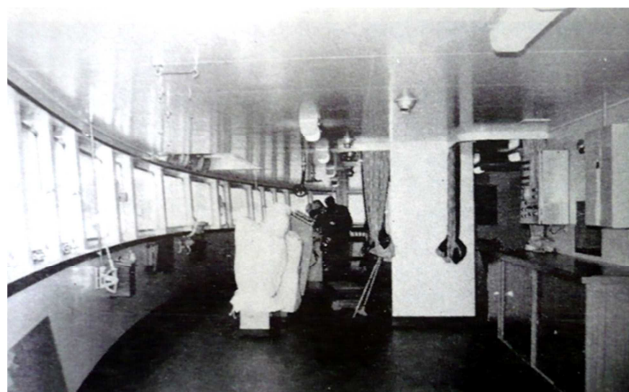
・4)は本船全景、自家用車による旅行ブームを受けカーフェリーの長距離化、大型化が始まった。

・5)は操舵室。

・6)は機関制御室

・7)は無線室、ダイヤル式の受信機が見える。

5) W47-05 まりも 操舵室



6) W47-06 まりも 機関制御室



7) W47-07 まりも 無線室



3. 「山鶴丸」 8)、9) は「船の科学」1972-9 (Vol.25, No.9) より採取。

- ・ 28次鉱石兼油運搬船 山鶴丸 DWT 165,062 kt ・ 船主 : 山下新日本汽船(株)、山和商船(株)
- ・ 建造 : 日立造船(株) 因島工場 昭和47年8月31日 竣工
- ・ 8) は 本船全景、9) は機関制御室で、狭いスペースに、配電盤、監視盤が装備されている。

8) W47-08 山鶴丸 全景



9) W47-09 山鶴丸 機関制御室



4. 「新さくら丸」 10) ~ 14) は「船の科学」1972-8 (Vol.25, No.8) および1972-9 (Vol.25, No.9) より採取。

- ・ 巡航見本市船(貨物船) 新さくら丸 DWT 11,097 kt

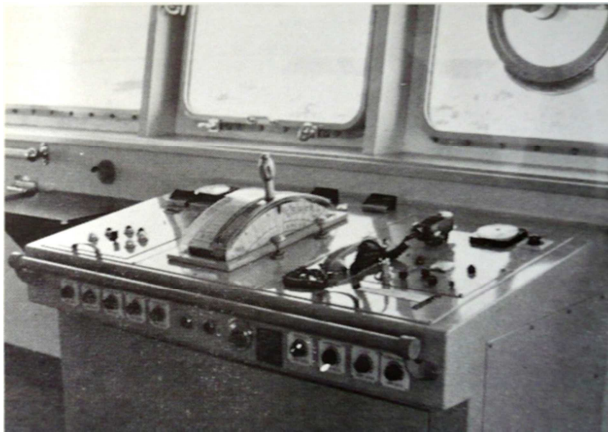
- ・ 船主 : (社) 日本産業見本市協会
- ・ 建造 : 三菱重工業(株) 神戸造船所
昭和47年7月18日 竣工

- ・ 10) は本船全景。
- ・ 11) は操舵室の Bridge Control Stand
- ・ 12) も操舵室で、レーダとオートパイロットが見える。
- ・ 13)、14) は機関制御室内の機器、13) は主機操縦盤、14) は主機、可変ピッチプロペラの制御盤。

10) W47-10 新さくら丸 全景



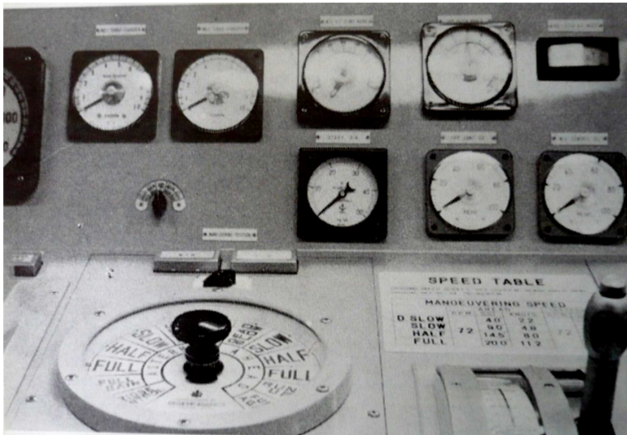
11) W47-11 新さくら丸 操舵室



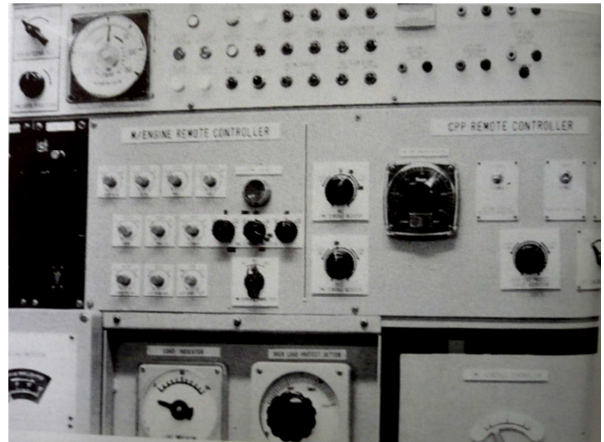
12) W47-12 新さくら丸 操舵室



13) W47-13 新さくら丸 主機操縦盤



14) W47-14 新さくら丸 CPP CONT.



5. 「**ジャパン アンブローズ**」 15) ~ 18) は「船の科学」1972-12 (Vol.25, No.12) より採取。

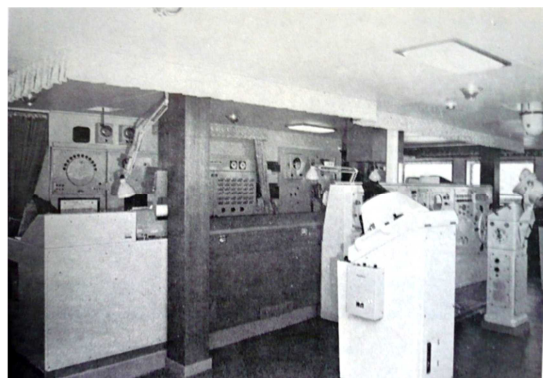
- ・ 27次コンテナ船 **ジャパン アンブローズ (JAPANANBROSE)** DWT 28,806 kt コンテナ積載数 1569 個
- ・ 船主 : **ジャパンライン (株)**
- ・ 建造 : **石川島播磨重工業 (株) 相生第1工場 昭和47年9月8日 竣工**

- ・ 15) は本船全景。 16)、17) は操舵室で、16) は前方から海図スペースを見たところ、17) は海図スペースから操舵室を見たもの。Chart Table の右側の機器は衛星航法装置 (NNSS) と荷役兼航法用計算機である。
- ・ 18) は機関制御室で、大きな監視制御用のコンソールが見える。

15) W47-15 ジャパン アンブローズ 全景



16) W47-16 同左 操舵室



17) W47-17 ジャパン アンブローズ 操舵室



18) W47-18 同左 機関制御室



6. 「にゅーよーく丸」 19) ~ 22) は「船の科学」1972-12 (Vol.25, No.12) より採取。

- ・ 27次コンテナ船 にゅーよーく丸 DWT 33,287 kt コンテナ積載数 1,884 個
- ・ 船主 : 大阪商船三井 (株)
- ・ 建造 : 三菱重工業 (株) 神戸造船所 昭和47年9月18日 竣工

- ・ 19) は本船の全景、20) は操舵室である。Bridge Console, Radar 指示器2台が見える。
- ・ 21) は 機関制御室、コンソール、監視盤、配電盤などが見える。22) は弁制御室である。

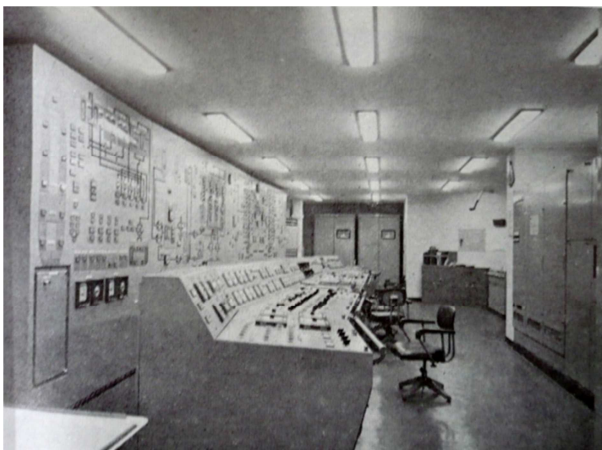
19) W47-19 にゅーよーく丸 全景



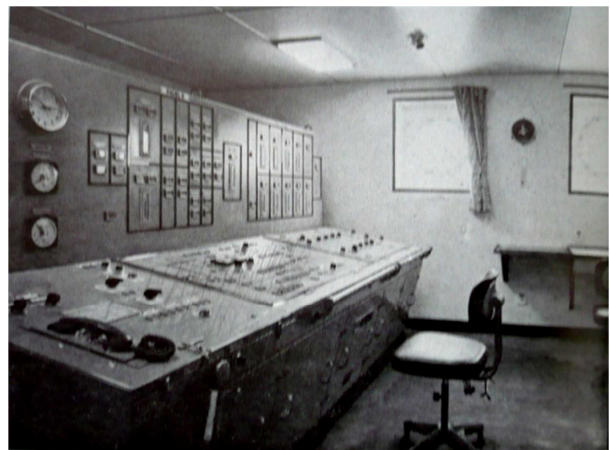
20) W47-20 にゅーよーく丸 操舵室



21) W47-21 にゅーよーく丸 機関制御室



22) W47-22 にゅーよーく丸 弁制御室



23) W47-23 ESSO KUMAMOTO 全景

7. 「ESSO KUMAMOTO」 23)～25) は「船の科学」1973-1 (Vol.26, No.1) より採取。
- ESSO 向22型シリーズ油槽船 (第1船/9隻)
ESSO KUMAMOTO 号 DWT 22,320 kt
 - 船主 : ESSO TANKERS INC.
 - 建造 : 日立造船 (株) 向島工場
昭和47年9月7日 竣工

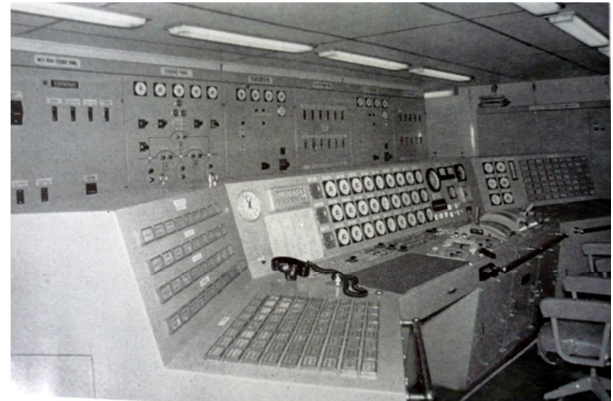


- 23) は本船全景、24) は操舵室で操舵 STAND と BRIDGE CONSOLE が見える。25) は機関制御室でメータが一杯の CONSOLE が見える。

24) W47-24 ESSO KUMAMOTO 操舵室



25) W47-25 ESSO KUMAMOTO 機関制御室



26) W47-26 TOYAMA 全景

8. 「TOYAMA」 26)～30) は「船の科学」1973-1 (Vol.26, No.1) より採取。
- 3機3軸超高速コンテナ船 TOYAMA
DWT 34,005 kt
速力 最大 30.57kn 運航 27.75kn
主機 中央 常用 30,000BPS×117rpm
両舷機 常用 22,500BPS ×117rpm
コンテナ積載数 2,208 個
(うち 冷凍コンテナ 204 個)
 - 船主 : ウイル・ウイルヘルムセン社 (Norway)
 - 建造 : 三井造船 (株) 玉野
昭和47年11月7日 竣工



- 26) は本船全景。
- 27) は Wheel House で、Norway のメーカ ノルコン製の Data Bridge や衝突予防レーダが見える。
- 28) は Engine Control Room 。
- 29) も Engine Control Room で、液面計のパネルと弁遠隔操作コンソールが配置されている。
- 30) は Radio Office 、すっきりした配置である。

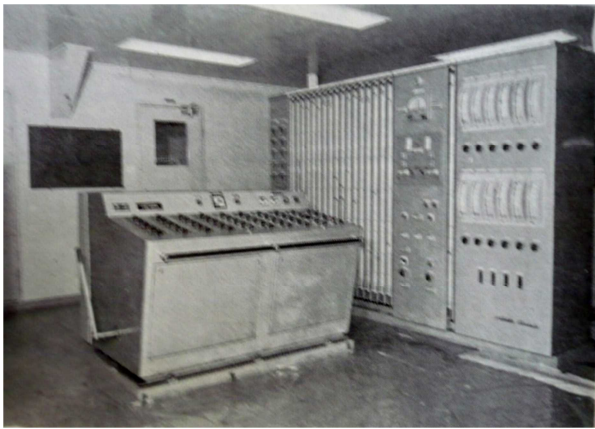
27) W47-27 TOYAMA Wheel House



28) W47-28 TOYAMA Eng.Control Rm (1)



29) W47-29 TOYAMA Eng. Control Rm (2)



30) W47-30 TOYAMA Radio Office



9. 「あるかす」 31)、32) は「船の科学」
1973-2 (Vol.26, No.2) より採取。
- ・大型長距離 カーフェリー あるかす (ARKAS)
名古屋一苦小牧間、総トン数 9,695.7 T
自動車搭載数 トラック 95 台、乗用車 75 台
 - ・船主 : 太平洋沿海フェリー (株)
 - ・建造 : 内海造船 (株) 瀬戸田工場
昭和47年9月11日 竣工

31) W47-31 あるかす 全景



- ・31) は本船全景。
- ・32) は操舵室、右よりレーダ、主機操縦コンソール、操舵スタンドなどが見える。

32) W47-32 あるかす 操舵室



[メモ]

- 1) 超高速大型コンテナ船が建造された。ここでは えるべ丸、TOYAMA、にゅーよーく丸、ジャパン・アンブローズを取り上げた。えるべ丸、TOYAMA は 主機関 ディーゼル 3台、3軸となっていて珍しい。
- 2) 大型長距離カーフェリーが、この頃より登場した。
- 3) 巡航見本市船 新さくら丸 が建造された。
- 4) 超自動化船のような大掛かりなシステムではないが、個別機器にミニコンが使用され始めた。
航海システムでは 測位機器 NNSS、衝突予防レーダ、船体関係では、積荷の状態を計算表示するシステムなどである。